



おにぎり通信

2022年11月12日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！ 私たちは毎週土曜日に、有楽町・銀座・日比谷公園・茅場町・日本橋・お茶の水・秋葉原・東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

最近明るいニュースが全くなくて、ニュースを見るのも聞くのもおっくうなのですが、皆さんはどうでしょうか？

円安で輸入品の価格がことごとく上がっており、物価上昇が止まりません。加えて、ウクライナでの戦争に関連して、再度食糧危機になる可能性も出てきており、一庶民の身にはどうすることもできないことばかりです。私たちができることといえば、お互いできる限り助け合うことだけだ、と日々思い知らされます。

福祉行動は引き続きお休みします。ただし福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりを持参して伺った際に、お声がけください。

お声がけいただいた場合のみ、翌々日の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地14-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

ようふくきねんび
【洋服記念日】

きょう がつ にち ようふくきねんび
今日11月12日は「洋服記念日」です。

これは、1872年(明治5年)旧暦11月12日に「礼服ニハ洋服ヲ採用ス」と
いう太政官布告が出されたことに由来するもので、全日本洋服協同組合
連合会が1972年に制定しています。

この太政官布告によって、それまでの公家風・武家風の和服礼装が廃止さ
れ、男性については、ヨーロッパの宮廷服にならった大礼服が定められま
した。以後、警官・鉄道員・郵便夫等の制服、また教員の服装などは西洋化
していきます。

他方で女性の洋装化は遅れました。上流階級では鹿鳴館の舞踏会で洋服
が着用されたり、1886年には女性の大礼服などが定められましたが、
一般には和服が着用され続けました。しかし、大正時代に入ると、大正デ
モクラシーの影響下で、モダン・ガール(モガ)や、バスの女車掌などの
職業婦人が洋服を着るようになっていきます。また、1923年の関東
大震災では、身体の動作を妨げる構造である和服を着用していた女性の
被害が多かったことから、翌1924年に「東京婦人子供服組合」が発足し、
女性の服装の西洋化を目指す運動が盛んになりました。この頃になると、
女性も段々と洋服を着るようになっていきます。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に
入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずそ
の日のうちにお召し上がりください。

よ や なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535
うけつけじかん まいしゅうどようび ごご じ ごご じ
(受付時間 毎週土曜日午後3時～午後6時)
ちよだくこうじまち せい きょうかい
千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会